



学校だより

～ ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分 ～



学校 HP

令和8年 5月 29日 6月号

横浜市立斎藤分小学校 校長 小笠原 洋平

～笑顔あふれる5月と新しい出会い（姉妹校交流スタート）～

校長 小笠原 洋平

春とは思えない暑さで始まった5月も、早いもので間もなく終わろうとしています。暦の上では芒種を迎える時期となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと思います。また、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新年度が始まってから、あっという間に2か月が過ぎようとしています。子どもたちも新しい環境に少しずつ慣れ、毎日いきいきと学校生活を送っている様子が見られます。5月8日には岸根公園まで全校遠足に行ってきました。ふれあいグループでの活動では、学年を越えて仲よく関わる姿や、それぞれの役割をしっかりと果たそうとする姿が見られ、子どもたちの成長を感じる一日となりました。学校教育目標である「ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分」を体現するような、たくさんの笑顔に出会うことができました。

さて、今回は今年度から始まった取組である、オーストラリア・メルボルンのセントオールバンズハイイツ小学校（以下「姉妹校」）との交流についてお伝えします。

5月19日には、今年度最初の交流としてオンライン交流会を行いました。姉妹校からは校庭や図書室など学校の様子を紹介していただき、本校との違いに子どもたちは興味津々の様子でした。本校からは、全校児童による国歌と校歌の斉唱、そして国際交流委員会によるスピーチやクイズを行いました。英語で学校のことを伝えようと一生懸命に準備し、練習を重ねてきた成果が感じられる、堂々とした発表でした。

同年代の外国の友達と英語で交流し、異文化に触れる経験は、子どもたちにとって大きな刺激となり、今後の学びへの意欲につながっていくことと思います。今後も3～6年生を中心に交流を続けていく予定です。

異文化交流に限らず、体験を通した学びは子どもたちにとってとても大切です。授業で学んだことを実際に使ってみることで、理解がより深まったり、新しい発見につながったりします。身に付けた知識を生活の中で生かしていく経験が、これからの学びを支えていきます。

テレビやパソコン、スマートフォンやタブレットなどを通して、さまざまな情報を簡単に得られる時代ですが、だからこそ学校では体験的な学びを大切にしていきたいと考えています。ご家庭でも、お子さんに考えさせたり、任せてみたりする場面を少しずつ増やしていただけるとありがたいです。